

図書館だより

高屋中学校図書館 令和4年7月号

★新しい本が入りました！

約160冊の新しい本が到着しました。読み物、調べ学習に役立つもの、「第68回青少年読書感想文全国コンクール」の課題図書など、夏休みの読書にぜひどうぞ。

新着図書の貸出は、ひとり2冊までとしています。なるべく多くの方が新しい本を借りられるようにするためです。

★夏休み貸出スタート！

- 7月12日から
- ひとり 10冊まで
- 返却は 8月23日から26日

★学校図書館蔵書検索サービス（カーリル）が始まりました！

学校図書館に行かずに、蔵書検索や予約ができます。書庫の本の情報も出ているので、書庫に入らなくても書庫の本が予約できます。本の準備ができたら、カウンター前、学校図書館入口、生徒玄関などに掲示しています。

- カーリルで予約した人は、予約後2-3日以内に学校図書館に来てください。
- 予約できるのは、1回につき1冊です。

カーリルで本を予約した人は、早く借りに来てね！予約したままの人がいるよ。



高屋中学校図書館の本から 図書委員おすすめの本（3年生図書委員）

『涼宮ハルヒの憂鬱』 谷川流/著 角川書店 2003



913
タ

- ★おすすめポイント★
涼宮ハルヒの自己紹介がぶっとんでいておもしろい
- ★こんな人におすすめ★
非日常系学園アニメが好きな人

宇宙人、未来人、超能力者と一緒に遊ぶことを目的として作ったSOS団だったが！？ 次々と巻き起こることがとてもおもしろい。ひとりひとりのキャラが個性的で魅力的。ぜひ読んでみてください。

『優しい死神の飼い方』 知念実希人/著 光文社 2013



913
チ

- ★おすすめポイント★
死神のレオがいるいろいろな人と出会って、少しずつ成長していくところ
- ★こんな人におすすめ★
ミステリーが好きな人、感動する話が好きな人

地上に左遷された死神のレオが、ホスピスで暮らす様々な人を未練から救っていく話です。ある日、主人公の死神は「我が主様」に人間の地縛霊化を防ぐよう命じられ、犬の姿にさせられてしまいます。冬の寒さに凍えていた犬の姿の死神は、ホスピスの院長の娘、奈穂に拾われ、運良くそのホスピスのペットとなりレオと名付けられます。そこで、レオは次々と患者たちの無念を晴らしていくのですが、ある事件が起こって…。学校図書館には姉妹作の『黒猫の小夜曲』もあるので、ぜひ読んでみてください。

『はじめアルゴリズム1』 三原和人/著 講談社 2017



410
ミ
1

- ★おすすめポイント★
マンガなので読みやすくおもしろいところ
- ★こんな人におすすめ★
ワクワクする話が読みたい人

老数学者の内田豊（ウチダ）と天才少年 関口ハジメ（ハジメ）が、数学を使って「世界」を解こうとする話です。いろいろな人と出会い成長するハジメとウチダ。数学が苦手だから話の内容がわからない！なんてことはないので、ぜひ一度手に取ってみてください。

『妖怪アパートの幽雅な日常1』 香月日輪/文 講談社 2003



913
コ
1

- ★おすすめポイント★
現実ではありえない、でもそこがおもしろい
- ★こんな人におすすめ★
幽霊が出てくる話や、現実ではありえない話が好きな人

この本は題名のとおり、妖怪たちが住んでいるアパートに住むことになった主人公が、幽（誤字に非^{あら}ず）雅な日常を過ごしていくというストーリーです。主人公は、最初アパートの妖怪たちに対しても驚いていましたが、少しずつ仲良くなりながらおもしろいと感じることが増えていきます。ちなみに、私は主人公の親友である長谷君と妖怪のりり子さんが好きです。ぜひ読んでみてください。